

箱根組ニュース

第290号 2017年 新年号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

2016年の締めくくりは、日和田山に登り、巾着田横の河原でたき火と芋煮を楽しむ。

12月17日(土)、西武池袋駅発8時5分の快速急行長瀬行に乗車。電車は少し遅れて9時過ぎに高麗駅に到着。参加者と芋煮の分担は、太田(舞茸、シイタケ)、星野(幸)(長ネギ)、神山(ゴボウ)、坂巻(しめじ)、星野親子(うどん)、和田(こんにゃく)、神吉(牛肉)、奥村(里芋)、及川、岩岳(めんつゆ)、戸丸(焼き豆腐)の12名。

【宗像さんは不参加ですが、うどんつゆを提供してくれました、ありがとうございます！
いました】

快晴の駅前で身支度、体操をする。

少し遅れている岩岳さんを待つ間、駅前で頭の体操のゲームをする。神吉さんのリズム体操？のようなものと坂巻さんの後だしで負けるじゃんけんで、面白く老化防止に効果てきめんか？

「高麗駅の標高は110mで、日和田山は305m、本日の高低差は195m」

9時48分、出発。真っ青な空に雲一つなく、陽ざしはたつぷりだ。駅前広場から駅の横の階段を上がり線路沿いを

少し進むとすぐ左の踏切を渡る。「台」の信号で広い車道を横切る。道端では野菜を無人で販売している。ネギ、大根、白菜、みかん、ホウレンソウなど新鮮なものが並んでいる。生垣のさざんかのピクがきれいだ。

9時55分、路地を右に曲がる。巾着田、高麗神社方向の案内看板がある。突き当たると水天の碑がある。200年ほど前に干ばつや洪水、水難事故などを鎮めるために台村の人々が建てたものだそう。左に道は曲がってゆく。

正面には日和田山が青空の下にくっきりと台形のような形を見せている。山頂手前の金刀比羅神社も見える。

10時。鹿台橋の信号を渡る。右方向に行くとき鹿台橋で高麗川を渡る。高麗本郷の信号を左に曲がり緩やかな坂道を上ってゆく。「県立奥武蔵自然公園」の看板が立っている。

10時9分、「日和田山」の看板に従って左に入っていく。目の前に雑木林が見えてくる。切り干し大根や唐辛子、菜



花などを道端で無人で販売している。その先では、小石や板にきれいな花や鳥などを書いて販売していた。

10時13分、林に入ってゆく。木漏れ日が美しい、緩やかな雑木林が続いている。最近建て替えられたのかきれいな公衆トイレがある。左に回り込むように上ってゆくと、針葉樹の森になる。

10時23分大きな鳥居前に到着。小休止。目の前が男坂と女坂の分岐だ。10時30分、右の女坂のルートを進む。陽ざしが温

神吉さんより40円切手を131枚と5000円、岩岳さんより2000円頂きました。ありがとうございます。た。

現在の収支	
繰越収入	26565 円
7000 円	
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	32165 円

切手残数	
82円切手	118枚
40円切手	131枚

がら慎重に登る。左方向に曲がってゆくと、再び自然林が混じってきてここもまた木漏れ日が美しい。

10時47分、金刀比羅神社前の展望の

良い岩場に到着。南西方向には奥多摩の山越しに真っ白な富士が上半身を見せている。先月行った高水三山がすぐ右にあるはずだ。眼下の巾着田がはつきりその巾着の形を見せている。富士の左側には丹沢の尾根、一番左には大山の三角形の形がはつきりとわかる。その左にはもう目立った山は見えない。尾根は太平洋へと向かっているという感じだ。

展望地にはたくさんの方が景色を楽しみながら休憩している。手軽に登れるのにいい景色が楽しめる素敵な山だ。

すぐ裏の山頂に向かう。神社の裏が大岩の岩場で右のう回路で登る。岩を登るのも一のぼりだが無理せずに安全策で行く。少し行って小山の手前を左に行けば高指山方面だが、右の山頂へ。ちょっと上ってすぐに左に回り込むと目の前が山頂だ。

11時、日和田山山頂。本当に小さな小山といった感

2017年の幕開きは大山参りです！

1月15日(日) 丹沢の大山(1252m)です。

レギュラーコース 歩行約4時間

コースは3パターン計画、①日向薬師に下山、入浴
②ケールブルで往復 ③蓑毛に下山
※参加者によって当日決定します。

○持ち物 昼食、飲料水、非常食、ポットにお湯、カップ、雨具、傘、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

申し込みは 1月13日(金)までに

集合 1月15日(日)

小田急線新宿駅 7:01発

急行小田原行き(前から3両目車内)

途中駅発 代々木上原7:06 下北沢7:09

経堂7:13 成城学園7:17 登戸7:20

向ヶ丘遊園7:22 新百合ヶ丘7:28

相模大野7:39 海老名7:49

伊勢原7:59着(バス乗換)8:20発

大山ケーブル行き

交通費(片道)電車590円、バス310円、ケーブル630円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/

じでこんもりとした山頂だ。東には筑波山。都心方面には高層ビルやスカイツリーも確認できる。展望の岩場よりは人は少ない静かな山頂だ。記念撮影をする。

11時13分、下山開始。元来た道に戻る。展望地でもう一度景色を楽しんで降りてゆく。岩場は慎重に。

11時48分、山の入口に戻る。途中でたきびの材料の木々を拾い、各々持ちながら河原に向かう。

12時頃、巾着田の西側の河原に到着。レジャーシートを敷いて焚火の位置を決め、芋煮のコンロの位置を決める。神吉さんに芋煮を担当してもらい、戸丸は焚火の準備、用意してきたサツマイモを出してたき火を始める。



しばらくするとこの管理人と思われる人が来てたきびは禁止ですと言われる。

しかし始まつてしまつたのです。みませんと言つて控えめにそのまま続けた。

(管理上

の事だと思いが、今の世の中どうしてこうやって自由に楽しむことを許してくれないのだろうか。昔は飯能の川でもずいぶん楽しんだのだが今は出来なくなつてしまつた。

話は違うが沖縄名護のホテル前でも11月は遊泳禁止と言われて悲しい気分だつた。それでも少し泳いだのだが)

それはとにかく、予定通りたきびも焼き芋も進行した。大鍋では芋煮が美味しく完成し、ビールやワインが空いて芋煮会は大成功。いつものように持ち寄りの惣菜が並び、地元で買ったみかんも配られた。芋煮が少なくなつたところであろうどんを入れ、恒例の芋煮うどんの完成。お腹いっぱい幸せを感じた。

青空の下でワイワイやるのはとても楽しい。風も無く穏やかな河原だつた。もういい頃と焼き芋を取り出してみた、一部小さなものは焼け過ぎだったがほとんど芋は美味しくこんがり焼けてとても美味しかった。

穏やかな河原では食後のんびりと横になつて昼寝をする人が何人もいた。

3時15分、きれいに片づけた後出発。すぐ上流の小さな魚道のような堰堤が渡れそうで行つてみたが最後のところで水が多く元に戻つた。戸丸一人がわつた。橋で合流。少し先の野菜の無人

販売にまた引き寄せられる。

4時頃、高麗駅に到着。電車の心地よい揺れに眠気を誘われながら帰途に就く。

2016年も無事に箱根組を終了しました。来年も楽しいことをいっぱい計画します。



※2017年夏の予定

7月 南アルプス仙丈ヶ岳テント泊
8月 群馬・玉原高原バスツアー

